

## 遠野文化フォーラム 東北民謡の父 武田忠一郎の贈り物 子守唄と民謡



上 佐々木喜善賞の受賞者と文化研究センター所長・顧問ら 左 伸びやかな歌声で客席を沸かせた原田直之氏

遠野の豊かな文化的資源を生かしたまちづくりを考える「遠野文化フォーラム」(遠野文化研究センター主催)は8月10日、市民センターで開催され、市内外から360人が参加しました。

第1部では、佐々木喜善賞表彰式を実施。遠野少年少女合唱隊がわらべ歌・子守唄を披露しました。音楽文化研究家の長田暁二氏と、同センター顧問西館好子氏の対談も行われました。第2部は、武田氏の娘婿で民謡歌手の原田直之氏が公演。遠野まめけ節保存会と本市在住の民謡歌手・菊池信夫氏とともに、武田氏が復活に尽力した「遠野まめけ節」を披露しました。来場者は、東北民謡の父・武田忠一郎氏について理解を深めました。

8月20～23日 大府市小学生都市間交流

## 大府の児童が遠野を満喫

友好都市・愛知県大府市から小学生20人が4日間の日程で来遠。遠野小学校を訪れた児童と同小6年生は、両市の歴史や魅力を紹介する発表やゲームを通して交流を深めました。



遠野で4日間さまざまな体験をしました

また、後方支援資料館では東日本大震災発生時の様子を学習。カッパ釣りや馬との触れ合い体験など、遠野の文化も満喫しました。

8月11日 第33回遠野市少年消防クラブ防火野球大会

## 白球を追いかけ防火を誓う

クラブ員の健全な育成を目的に行われた同大会は、遠野運動公園で開催。市内8チームが出場しました。開会式では綾織野球スポーツ少年団の鈴木比呂斗くんが選手宣誓。試合が始まると、選手たちはグラウンドで全力プレーを見せました。激闘の末、達曽部スポーツ少年団が3度目の優勝を果たしました。



決勝戦は目を離せない好ゲームになりました

8月13日 令和元年度めがね橋夜まつり

## 地元芸能団体が幻想舞台彩る

同まつりは道の駅みやもり緑地広場特設会場で行われ、地元の芸能6団体が出演。鮮やかにライトアップされためがね橋を背景に、和太鼓演奏や神楽、鹿踊りなどを披露し、舞台を彩りました。当日は、約300人が来場。観客は、地元芸能団体の演舞や奏でる音に魅了され、幻想的な雰囲気にも包まれました。



下郷さんさ踊りも披露されました

8月15日 第29回遠野納涼花火まつり

## 故郷の空に満開の花火

遠野納涼花火まつりは早瀬川緑地公園グラウンドで行われ、市民や帰省客ら約2万人が光と音の共演を楽しみました。今年は、約460もの企業・団体・個人から多くの協賛を得て開催。18種類のスターメインなど計5,000発の花火が次々と夜空に広がり、観客は拍手と歓声を送っていました。



空いっぱいに広がる花火は遠野の夏の風物詩

8月2日 チャレンジ防災スクールTONO2019

## 楽しみながら防災を学ぶ

同スクールは、市総合防災センターで開かれ、市内の小学4～6年生26人が参加。自然災害から安全に身を守るため、防災マップづくりに挑戦しました。非常食のカレーライスを実食したほか、消火活動や煙が充満した部屋からの避難なども体験。児童は楽しみながら、防災について学び、理解を深めました。



相談しながら防災マップ作り

8月4日 2019稲荷穴まつり

## いわての名水に親しむ夏

達曽部地域づくり連絡協議会が主催した同まつりには、親子連れなど約500人が来場。ステージでは、郷土芸能や子どもたちによるダンスなどが披露されにぎわいを見せました。稲荷穴の名水を使ったコーヒの振る舞いや流しそうめん、ニジマス釣り体験なども行われ、思い思いの夏を楽しみました。



やった～！ニジマス釣れたよ！

7月22日 杉原千畝研究会が遠野に初訪問

## 杉原千畝と妻幸子のゆかりの地巡る

第二次世界大戦時、ユダヤ難民にビザを発給し多くの命を救った杉原千畝。杉原千畝研究会のメンバーら41人が本市に初めて訪れました。杉原の妻・幸子さんの父・菊池文雄さんが本市出身であることから実現。一行は、蔵の道ひろばの杉原千畝顕彰碑や生家などを訪れ、杉原夫婦の功績に思いを巡らせました。



杉原千畝顕彰碑の前で記念撮影

7月28日 柏木平特設会場での夏の合同イベント

## 夏を盛り上げるイベントに熱狂

「柏木平リバーサイドまつり」「全国やぶさめ競技第13回遠野大会」が同時開催され、市内外から約2,000人が来場。会場では、歌謡ショーや魚つかみ取り体験などが行われました。やぶさめ競技大会には、全国各地から33人が出場。人馬一体の迫力ある妙技に、観客からは大きな声援が送られていました。



3頭が一気に駆け抜ける大迫力の団体戦

## 重文千葉家 1日限りの大公開！

平成28年から保存修理工事が進む国指定重要文化財の千葉家が8月4日、1日限定で公開され、市内外から約300人が来場。工事中の千葉家が保存修理工事見学・解説会が開かれ、参加者は世紀の大修理を目に焼き付けました。当日は、いしがきまつり2019も開催。千葉家に伝わる道具を使った体験や夏野菜の漬物試食販売などが行われ、会場はにぎわいを見せました。修理工事は令和6年に完了予定。千葉家の大修理を成功させるため、現在、ふるさと納税を活用した応援プログラムを実施しています。

- 1\_修理中の千葉家内部 2\_石垣積みに挑戦！崩れないように積めるかな？ 3\_応援プログラムの詳細は市ホームページまで

